

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2011-481
研究課題名	腎癌に対する mTOR 阻害剤の効果予測因子の多施設共同研究
研究期間	西暦 2011 年 10 月（倫理委員会承認後）～ 2012 年 12 月
対象材料	<input checked="" type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名：腎癌組織） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（）
上記材料の採取期間	西暦 1990 年 01 月～2011 年 06 月
意義、目的	2010 年になり mTOR 阻害剤は使用可能となったが、どのような組織であれば効果が期待できるのかいまだ明確なものはない。このようなバイオマーカーを検索する目的に、同一病理医（セントラルパソロジスト）による免疫染色の評価を行い、臨床効果判定との関連を調べることにした。
方法	東北大学病院、秋田大学、弘前大学、筑波大学、大崎市民病院、仙台医療センター、宮城県立がんセンター、気仙沼市立病院、仙台社会保険病院において mTOR 阻害剤で治療された腎癌を対象とする。癌を含む組織の未染プレパラートを匿名化した状態で当院病理部に郵送し、臨床データと切り離した状態で、免疫染色の評価を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学医学部泌尿器科, 022-717-7278 齋藤英郎